

## 2019 年度実施概要

学校名

浜田市立長浜小学校

採択活動名

Nagahama マリン郷育

取り組みの概要

今年度は本格的に「郷育」と銘打っての海洋教育は3年目に入る。今年度は、各学年の内容と6年間の系統性を持たせた実施内容を考える取り組みを行っているところである。そこで、来年度は今年度の学習を振り返ることはもちろんであるが、海に関する学習についてはある程度軌道に乗ってきたので、子どもたちのふるさとの意識の変化を検証していけるような実施内容を考えている。

●海に親しむ「ふるさとの海に親しみ、進んでかかわろうとする。」

1・2年は生活科で、学校近くの海辺を歩いて生き物を見付けたり、砂浜の海岸で遊んだりする。3～6年は総合や体育で、海の生き物を採取したり、乗船体験などの様々な海洋活動を行ったりする。また、水産加工体験をしたり、マリンスポーツを楽しんだりする。

●海を知る「ふるさとの海の自然や、海とのつながりを調べようとする。」

1・2年は国語科で、海の生き物や海の乗り物について調べる学習を行う。3～6年は、理科、社会、総合で、海の生き物や自然について調べたり、ふるさとの海に関わる歴史と文化を調べたりする。全学年で、図書館を活用した調べる学習を行う。

●海を利用する「海と関わりの深いふるさとの良さを学ぼうとする。」

1・2年は生活科で、3～6年は社会、総合で、関係機関や団体の支援を得ながら、ふるさとの漁業や水産加工業、魚食文化について学んだり、漁港と商港を持つふるさとの日本各地や世界との結びつきについて学んだりする。

●海を守る「ふるさとの海に愛着を持ち、主体的に関わろうとする。」

全学年を通じて、生活科や総合で、海の環境保全について調べたり行動に移したりする。図工や体育、学校行事などで、ふるさとの海を守る気持ちを絵にしたり、海岸マラソン等で啓発活動を行ったりする。

●本事業の前後に児童にふるさとの意識に対するアンケートを実施し、児童の変容を見ていく。

活動中の写真



実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 国語「いろいろなふね」

2. 図工「すなや土となかよし」